

予算決算委員会経済環境分科会記録

1 日 時 令和2年10月12日（月曜日）

開 会 午前 9時56分

閉 会 午前11時19分

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 7人

分科会長 江西 照 康

分科会副会長 金 谷 幸 則

委 員 木 下 章 広

// 高 道 秋 彦

// 東 篤

// 小 西 直 樹

// 堀 江 かず代

4 欠席委員 1人

委 員 金 厚 有 豊

5 説明のため出席した者

【環境部】

部長	伊藤 曜一
理事（環境センター所長）	伊東 繁
部次長	杉谷 要
環境政策課長	小川 徹雄
環境保全課長	飯田 哲
環境センター次長（管理課長）	長崎 秀樹
環境センター業務課長	高土 春樹
環境政策課主幹（調整担当）	田近 淳

【商工労働部】

部長	大場 一成
部次長	関野 孝俊
部次長（コンベンション・薬業・観光振興担当）	梅沢 宗仁
商業労政課長	高橋 洋
工業政策課長	坂口 輝之
薬業物産課長	西田 清和
観光政策課長	佐伯 徳生
公営競技事務所長	宮田 一博
職業訓練センター所長	木下 満
牛岳温泉スキー場所長	中澤 栄三
商業労政課主幹（調整担当）	山崎 悟

【農業委員会事務局】

事務局長	浅野 朋之
事務局次長	久郷 元幸

【農林水産部】

部長	山口 忠司
理事（技術担当）	井水 清智
部次長	高嶋 善秀
農林事務所長	谷井 政人
地方卸売市場長	茶木 聖一
参事（農村整備担当）	笹岡 覚
参事（市場再整備推進担当）	杉本 周児
参事（農業水産課長）	本林 成元
参事（森林政策課長）	桐溪 修一
参事（農村整備課長）	前田 剛
農政企画課長	高田 興真
農林事務所農業振興課長	余川 洋成
農林事務所農地林務課長	谷崎 友紀
地方卸売市場次長	水野 智
営農サポートセンター所長	山崎 晃
農政企画課主幹（調整担当）	岡地 睦美

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	野嶽 誠司
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主任	河原 絢加

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、予算決算委員会経済環境分科会を開会いたします。

金厚委員より、都合により欠席するとの連絡がありましたので御報告いたします。

審査に先立ち、分科会記録の署名委員に、高道委員、堀江委員を指名いたします。

当分科会に付託されました各案件の審査については、各部局単位とし、お手元に配付してあります分科会審査順序のとおり行う予定であります。

なお、委員各位に申し上げますが、質疑については、令和元年度決算に関係あるものでお願いいたします。

また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。

これより、環境部所管分の決算審査を行います。

認定第1号 令和元年度富山市一般会計歳入歳出決算中、環境部所管分を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

環境部長 〔挨拶〕

環境部次長 〔主要施策成果報告書及び委員会資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

小西委員 主要施策成果報告書の171ページですけれども、この中で一般廃棄物の再生利用率が、僅かですが、24%から、昨年度23.4%に下がった原因は何でしょうか。

環境センター次長 こちらの一般廃棄物の再生利用率につきましては、総排出量を分母といたしまして、資源物ステーションを含む資源物収集や集団回収、あとはリサイクルセンター等で金属類等を抽出した量を分子としています。集団回収の量が減少しているということが原因だと考えています。

小西委員 同じく主要施策成果報告書の175ページのガラス対策事業についてです。今報告がありましたように、皆さん大変苦労されているのですけれども、捕獲数が増えているのに、平成30年度は生息数が3,070羽、令和元

年度が4, 622羽となっている原因はどうしてでしょうか。

環境保全課長 カラスの生息数は平成30年度より確かに増えておりますが、その原因といたしますか理由といたしましては、カラスは餌の少ない冬場に多くが餓死—自然死といたしますか—餌が少ないものですから、かなりのカラスが餓死すると言われております。しかし今年は記録的な暖冬で積雪日数もほとんどなく、自然界の餌が豊富だったのではないかと。そのために、本来であれば、積雪のある日が3日間続きますと多くのカラスは餓死すると言われていたのですが、そういった亡くなるカラスが少なく、生き延びたカラスが多かったのではないかと考えております。

分科会長 今年ではなくて昨年ですか。

環境保全課長 昨年といたしますか、令和元年度です。

木下委員 主要施策成果報告書の179ページ、(2)の不法投棄パトロール事業についてですが、業務委託されているということなのですが、具体的にどのような形で活動をされているのですか。

環境政策課長 仕様書の中身を説明させていただきますと、2名体制でバンタイプの軽自動車に乗ってパトロールをするのですけれども、人気のないところですか山間部ですか、ごみが不法投棄されていてそうなところに狙いを定めてパトロールをしております、年間118日、見回っております。

木下委員 平成30年度に比べて令和元年度は不法投棄発見箇所が約30か所減っているのですけれども、不法投棄廃棄物の数が増加していると。これに関しては、一体どのように分析されておられますか。

環境政策課長 発見箇所については、確かに30件減っておりますが、この原因は分かりません。ただ、不法投棄廃棄物の数が増えております理由につきましては、平成30年度は281個のうちテレビが10台しかなかったのですけれども、令和元年度は345個のうちテレビが86台あり、テレビの不法投棄の発見が非常に多かったということで廃棄物の数が増えています。

堀江委員 年間で118日間ということなのですが、時間は何時から何時までなのですか。

環境政策課長 時間帯は午後２時から午後１０時までで、そのうち実働７時間パトロールすることとなっております。

堀江委員 不法投棄をする人は、人目につかない場所で、人目につかない時間帯に行うと思うのです。なので、そのことを考えておられたのかどうか—そのことを考えて午後１０時までにされたのですか。

環境政策課長 この時間設定については、過去の経緯は分からないのですが、やはり夜間回っていただくということに効果があると。車には不法投棄をしないようにという啓発の文言も大きく入っております。実際に発見する時間帯でもありますし、そういう車が回っているところを市民の方に見ていただくということも非常に効果があると思いますので、夜の設定になっているのだと思います。

堀江委員 もっと遅い時間に設定できなかったのですか。

環境政策課長 業者とも相談をして、回れるようであれば夜中に回るとすることも、またひとつ検討したいと思います。

東委員

同じ産業廃棄物の関係なのですが、平成29年度決算額、平成30年度決算額を見ると、600万円台です。それが令和元年度決算額は1,100万円にぼんと跳ね上がっています。これは先ほどの一例例えばテレビの不法投棄が多くて、その処理でお金が余計にかかったとか、そういうことなのでしょうか。主要施策成果報告書の179ページの上に平成29年度決算額、平成30年度決算額とあって、幾つか置いて令和元年度決算額を見ると、跳ね上がっていますよね。

環境政策課長

この約550万円増えている原因ですけれども、理由といたしましては、PCBの処分期限が迫っているものですから、PCBの機器がないか掘り起こし調査をする業務委託といたしまして、令和元年度に583万円の決算額があり、この業務が増えたことが原因になります。

木下委員

主要施策成果報告書の178ページをお願いします。環境未来都市推進事業ですが、この一番下の表を見ると、運營業務委託の費用が平成29年度から令和元年度にかけてどんどん減っていつていると。平成30年度から令和元年度も減っているのですけれども、この

年々減少している部分の説明をお願いします。

環境政策課長 環境未来都市計画につきましては、今は第2次計画の途中でございます。令和3年度までの計画になります。これに関連するプロジェクトが幾つかあり、そのプロジェクトの中で、例えば豊田地区でのスマート街区の整備など、既に完了したものの、あと国際連携の事業につきましては、もともとはこの未来都市協議会の事業だったのですけれども、外出しをしたものなどもございまして、結果として決算額が減っております。

東委員 主要施策成果報告書の48ページを見てほしいのですが、上から6行目、さらに多様化する各種公害苦情に対し、発生源者へ指導を行ったということなのですが、この苦情について、どのような苦情があるのか。また、その苦情に対して指導したということですが、指導した結果、改善している、あるいは再発が防止されているというようなことで成果が上がっているのか、そのことについて答弁を求めます。

環境保全課長 具体的な内容につきましては、集荷場でのトラックの出入り音がうるさいといった苦情が

ありました。それに対しまして、こちらといたしましては、やはり周辺住民の方の迷惑といえますか、配慮したやり方をやっていただきたいという指導を行ったところであります。

東委員 集荷場ですか。

（「集荷場というのは、例えば電気屋などトラックで荷物を搬入するところですよ」と発言する者あり）

東委員 店舗とかに荷物、物を入れる……

（「物をトラックで入れる」と発言する者あり）

東委員 そういう感じなのでしょうか。

環境保全課長 はい、そのとおりです。

東委員 それで、改善し、再発は防止されているのかということについても、もう一度お答えいただきたいです。

環境保全課長 指導した案件については対策がなされたということで、苦情は収まったということであり

ます。

堀江委員 主要施策成果報告書の48ページの(9)のイと177ページの(2)に省エネ設備等導入補助事業がございます。その中で、HEMSの件数が増えてきていると。そしてまた蓄電池の件数が増えてきているということなのですが、これは予算に対してどのくらいの執行状況だったのでしょうか。それぞれについて聞きたいと思います。

環境政策課長 予算での件数は、ちょっと今、数字を持っておりませんのでお答えはできないのですが、HEMSの増加傾向につきましては、HEMSはエネルギーの見える化を図るシステムとして、コンピューターでエネルギーの制御をするものです。その関係で、約15万円ほどかけて入れるシステムなのですが、その有効性が認められて非常に増えております。

蓄電池につきましては、これは約200万円のシステムなのですが、これまで太陽光発電で作られた電気は売電をされていたのですが、北陸電力など電気会社の買取り制度が10年間で切れるものですから、切れた後は非常に安い値段でしか売れなくなるとい

うことで、自家消費をするという動きが出てきております。電気を自家消費するために蓄電池を導入される方が多く一新築の場合もそうですけれども一新築後10年間、太陽光発電で売電を続けられた方で、11年目以降に蓄電池を入れられるということが増えてきたので件数が増えております。

環境部次長 予算内訳につきましては、まずHEMSについては予算では37件としておりました。それに対して98件の実績です。蓄電池につきましては、予算では60件で134件の実績ということでございます。

堀江委員 平成30年度にはHEMSはもう既に73件ありましたし、蓄電池に関しては106件あったのですが、なぜ予算での見込み数を下げられたのですか。

環境政策課長 もちろんこの増加傾向を分析した上で予算要求しているわけなのですけれども、財政当局の査定で削られてしまいました……。ただ、増加傾向も減少傾向もある設備で、蓋を開けてみないと分からない部分もありますので、予算の流用で対応させていただいた次第でございます。

分科会長 今の回答でよろしいですか。

堀江委員 しようがないです。
部長、何かうなずいておられましたか、よろしいですか。

分科会長 伊藤部長、意見はありますか。

環境部長 せっかくの御指名でございますので—今日は発言は一切しないでおこうと決めていたのですが、せっかくの御要請でございますので。今、堀江委員から不思議だなど、要るものを予算要求してどうして財政当局は査定で切るのかと。こんなことを言いましたら、市役所中どれだけの予算があっても仕方ないことで—今申し上げました環境部からの予算要求は、平成29年度の数字をベースに予算要求をしているところなのですが、財政当局もそこら辺は分かっております、むしろ不足するようであれば、今言いましたように流用なり補正で対応しなさいということでもあります。当初予算はまずそういった形でスタートをして、補正なり流用なりで対応するということでもあります。
HEMSについては、多分これからもどんどん数字は伸びていきますし、蓄電池について

も価格も大分安くなってまいりました。いつ災害が起こるか分からないということなどもございますので、蓄電池の需要はどんどん増えてくると思います。全体的な省エネ設備というのは、温室効果ガスの削減に大変効果があるということでございますので、私どもも財政当局に力強く働きかけるとともに、委員各位におかれましても、家屋の新築、増築等の際には、ぜひともこの再エネ設備一少し金額が増えますけれども一先ほど申しました大きな視点、温室効果ガスの削減というところからも、ぜひ設備として導入していただくことを私からお願いを申し上げまして一答弁になっているかどうか分かりませんが一答弁とさせていただきます。

木下委員

主要施策成果報告書の176ページをお願いします。下のところに主な取組内容とあって、緑のカーテン設置の下に、緑のカーテン育て方講習会の開催、親子で学ぶ教室の開催とか、4種類のイベントを開催したというふうに載っているのですが、それぞれ大体何回ずつ開催されて、どれぐらいの参加者がおられたのか、教えていただけますか。

環境政策課長

緑のカーテン設置に係る育て方講習会につき

ましては、市民プラザで2回行っております。参加者数については、すみません、はっきりした数字は持っていないのですが、定員20名ずつだったと記憶しております。親子で学ぶ「省エネ&時間の使い方」教室につきましては、シュートピア富山で1回開催をしております、これにつきましては恐らく5組程度の参加だったと記憶しております。正確な数字が分からなくて申し訳ありません。

(発言する者あり)

分科会長 まだ回答継続中でありますので、質問しないでください。

環境政策課長 COOL CHOICEのイベントにつきましては7月と11月に1回ずつ開催をしております、すみません、これにつきましても正確な参加者数は把握をしております。

木下委員 分かりました。
ある程度の予算を投じてやっている事業だと思しますので、また成果が実感できるような形で実施していただければと思います。

東委員 主要施策成果報告書172ページの3、ごみ

減量普及啓発事業の（２）に、啓発用副読本「美しい富山」を作成し、市内小学校６６校に配布したとあります。

私もインターネットで調べてみたら、すばらしい冊子でありまして、それこそ大人が読んでこれを理解すれば、ごみの分け方・出し方を読まなくてもいいぐらいの内容でした。本当にすごいなと思って、それこそSDGsの中心的な部局である環境部にとってもすばらしい成果だというふうに思っておりますが、この冊子の裏を見ると４年何々組と書いてあるということは、全ての小学生に配布したのでしょうか。

環境センター次長 小学校４年生全員に一全学校に対して配布しております。

分科会長 全学校の４年生全員ですね。

東委員 一人一人にですね。

（「そうです」と発言する者あり）

東委員 せっかくすばらしい内容なので、学習した子どもたちの感想とか、これを家に持って行って親も一保護者も見れば、これはすばらしい

なということでも感想も出てくると思うのですが、そういう感想をぜひとも環境部でつかんでいただいて、また次の新しいものを作るときに1つの素材にするというか、リニューアルするときの材料にしてほしいと思うのですが、そういうことをされているかどうか質問します。

分科会長 今日では決算に対する質疑ということですので一若干であれば結構ですけれども一ちょっと皆さん、御留意をお願いいたします。

（「要するに、金額的なものが課題であって、内容まで踏み込むのはいかがかということですか」と発言する者あり）

分科会長 決算を質疑する場でありますので、未来の計画等について発言する場ではないということであります。

東委員 これに対する感想等をいただいているのかどうかについてお聞きします。

環境センター次長 こちらの冊子については、毎年度、小学校の先生に何人か入っていただいで編集会議というような形でやっていますので、間接的には

なりますけれども、児童の御意見というのは反映されているのではないかと考えております。

分科会長 ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、認定第1号中環境部所管分の意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、環境部所管分の決算審査を終了いたします。

環境部の皆様は退室願います。

この後、商工労働部所管分に入ります。

説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔環境部退室／商工労働部入室〕

分科会長 これより、商工労働部所管分の決算審査を行います。

認定第1号 令和元年度富山市一般会計歳入歳出決算中、商工労働部所管分、

認定第9号 令和元年度富山市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算、

認定第10号 令和元年度富山市白樺ハイツ事業特別会計歳入歳出決算、

認定第11号 令和元年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計歳入歳出決算、

認定第12号 令和元年度富山市牛岳温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算、

認定第13号 令和元年度富山市競輪事業特別会計歳入歳出決算、

以上6件を一括議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

商工労働部長 〔挨拶〕

商工労働部次長 〔主要施策成果報告書及び委員会資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

東委員 主要施策成果報告書の50ページをお願いし

ます。（キ）の高齢者の雇用促進の関係なのですが、65歳以上でも働こうという意欲のある皆さんを雇用していくためにも、この雇用奨励金というのは大変ありがたく重要な政策だと思っております。実際雇用したら、事業主に対して1人当たり月幾ら交付するのかということと、もう1つ、ここ3年ほどの交付人数はどうなっているのかということに関して質問いたします。

商業労政課長 まず、月幾らなのかということですが、
—その前に主要施策成果報告書182ページをお願いいたします。一番下の7番に高年齢者雇用継続奨励金ということで、後の質問の答えから申しますと、令和元年度は1人、前年度は8人ということになっております。次に、御質問にありました金額でございますが、週30時間以上の場合ですと月額1万2,000円、週20時間から30時間の間ですと月8,000円を交付しております。

東委員 大変すばらしい政策ですが、今ございましたように、対象人数、実数ということで大変少ない数です。先ほど聞いた、1人当たりで支払っている実際の額が、事業主にとって少なくてもメリットがないということもあるという

ふうに思うのですけれども、それに関して、雇用主の側から、1人当たりの助成額をもっと増やしてもらえれば雇用しやすいとか、そのような声は何か聞いていらっしゃいますか。

商業労政課長 こちらの金額につきまして、事業主の皆さんのほうから、そういったお声というものは今のところお聞きしておりません。

小西委員 競輪事業についてです。この間、岩瀬地区の自治振興会から契約とかのこと—それから民間同士の契約だったのですけれども、売却すると、地元企業から……

分科会長 小西委員、令和元年度の決算に関する質疑をお願いいたします。

小西委員 そうしたら、ページがちょっと分からないのですけれども、駐車場の管理事業もこちらの所管ですかね。

分科会長 何のですか。市営駐車場のことですか。

小西委員 はい。駐車場管理事業です。

分科会長 それは所管部局が違います。管財課—財務部

ですね。

堀江委員 6番目の富山市スーパーシニア活躍促進人材バンクについて、実際にマッチングを行った方の仕事の中身というか、どのような業種だったのでしょうか。

商業労政課長 スーパーシニア活躍促進人材バンクのマッチング件数は、昨年度は17件でしたが、業種で申し上げますと、サービス業で8名、製造業で4名、建設業で3名、卸売業で1名、金融業で1名ということになっております。ちなみに男女別で申し上げますと、男性が15名で女性が2名という状況になっております。

木下委員 同じく主要施策成果報告書の182ページの5番、無料職業紹介事業なのですが、これは平成29年度から令和元年度に向かってどんどん来所者数も増え、就職件数も増えていて、非常にいいものになっていると思うのですが、求職の情報として、ハローワーク等との密な連携も取ってやっておられるのですか。

商業労政課長 ハローワークの求人につきましても、基本的

なものはこちらの無料職業紹介所で閲覧することもできますので、そういった面では連携はさせていただいています。

東委員

主要施策成果報告書の51ページの(3)のアの関係です。ここの(イ)に富山やくぜんを新たな観光資源として確立するため、英語併記のパンフレットを作成するなど普及啓発に努めたと。これは富山を薬都としてしっかりとPRして、食にも生かしていきましょうということについて、それこそ農業の6次産業化なども含めて大変有効なPR手段だというふうに思うのですけれども、実際このパンフレットはどこで配布しているのかと、あと年度内で何部作成して、どれくらいさばけているのかということに関して答弁をお願いします。

薬業物産課長

パンフレットにつきましては、市内のホテルでありますとか観光案内所、空港などに配布をしております。

作成部数につきましては、すみません、今手元に資料がありませんので、また後ほど御回答させていただければと思います。

分科会長

後ほどの回答でよろしいですか。

東委員 はい。それと併せて、実際の作成部数に対してさばけた数といたしますか、手元に残っていないかどうかということもお願いします。

分科会長 それも併せて後ほどよろしくお願いします。

東委員 主要施策成果報告書の180ページをお願いします。エコタウン推進事業の中で、この下のほうの表のうち一番下のエコタウン学園についてですが、これは毎年毎年、利用者が増えていて……。
ごめんなさい、これは環境部ですか。すみません。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
これより、認定第1号中商工労働部所管分、認定第9号から認定第13号まで、以上6件を一括して意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、商工労働部所管分の決算審査を終了いたします。
商工労働部の皆様は退室願います。
この後、農業委員会所管分に入ります。
説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔商工労働部退室／農業委員会事務局入室〕

分科会長 これより、農業委員会所管分の決算審査を行います。
認定第1号 令和元年度富山市一般会計歳入歳出決算中、農業委員会所管分を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

農業委員会事務局長 〔挨拶〕

農業委員会事務局次長 〔主要施策成果報告書及び委員会資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

木下委員 主要施策成果報告書の183ページの(1)、

農地法に基づく許可・受理件数について、この表の農地法第4条・第5条と農地法第18条—この表の2項目目と3項目目なのですから、平成30年度に比べて令和元年度が、それぞれ減少しているのですが、これはどういう理由によるものなのですか。

農業委員会事務局次長 平成30年度は平成29年度から減ったということですが、これは平成30年度、平成29年度は増えていると……。

木下委員 平成30年度から令和元年度に向かって、農地法第4条・第5条の項目の件数と、農地法第18条の項目の件数が減っているように見えるのですけれども、これはどのように分析されているのですか。

農業委員会事務局次長 まず、農地法第18条の合意解約の減少につきましては、水橋地区の基盤整備事業に関して中間管理機構に預ける農地が増加したということで、平成30年度は第18条の解約が多くありました。
それから、第4条・第5条、これはそのときの事情といたしますか、その年度の実情としか言いようがないと思います。

木下委員 分かりました。もし分析されて分かれば、また後日でも教えてください。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、認定第1号中農業委員会所管分の意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、農業委員会所管分の決算審査を終了いたします。

先ほどの件について、特段の理由がない可能性もありますね。

農業委員会事務局次長 はい、そうです。

分科会長 木下委員、それでよろしいですね。

木下委員 はい。理由がなければ、特には要りません。

（「そのときの情勢で、平成30年度に増えた理由は、水橋地区のことで増えている」と発言する者あり）

分科会長 農業委員会事務局の皆さんは退室願います。
この後、農林水産部の所管分に入ります。
説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔農業委員会事務局退室／農林水産部入室〕

分科会長 これより、農林水産部所管分の決算審査を行います。
認定第1号 令和元年度富山市一般会計歳入歳出決算中、農林水産部所管分、
認定第14号 令和元年度富山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算、
認定第15号 令和元年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算、
以上3件を一括議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

農林水産部長 〔挨拶〕

農林水産部次長 〔主要施策成果報告書及び委員会資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
 質疑はありませんか。

東委員 主要施策成果報告書の186ページの担い手
 総合支援事業費について、平成29年度、平
 成30年度決算額から見て、令和元年度予算
 現額は飛び抜けて多いとか少ないというこ
 とはないとは思いますが、決算額が2,60
 0万円余りになって執行率37.6%にとど
 まったということに関して、執行率が極めて
 低いということに対して、どのようなことが
 原因だと分析しておられるでしょうか。

農政企画課長 主な理由としましては、同186ページの2
 番の農地利用集積事業で一先ほど次長も説明
 しましたが一まず経営転換協力金に関しまし
 ては単価の引下げ、また上限額が引下げにな
 っておりまして、ぐんと決算額が落ちており
 ます。次に、耕作者集積協力金、こちらのほ
 うは制度がなくなったということで、全く執
 行がなかったという形になっております。地
 域集積協力金につきましても単価が落ちてい
 ることから、決算額が下がっております。
 以上となります。

木下委員 主要施策成果報告書の200ページをお願い

します。一番下にもあるのですけれども、有害鳥獣捕獲隊員育成事業とありまして、ページの真ん中あたりの表の一番下で、平成29年度から令和元年度に向かって取得者数がだんだん減っていているように見えているのですけれども、減っている理由について、どのように分析されていますか。

森林政策課長 有害鳥獣の捕獲隊員の育成事業につきましては、平成29年度、平成30年度、令和元年度と少しずつ減ってきておりますけれども、隊員として免許等を取得される方に対してのPRを進めたために、取りたいという方には免許をどんどん取っていただきまして、その後増えていないということでございます。

東委員 主要施策成果報告書の187ページをお願いします。2の果樹振興対策事業の事業費ですが、令和元年度は過去2年間に比べて大幅に伸びています。これは先ほど説明があったように、果樹園の防犯カメラの関係で事業費が大幅に伸びたという解釈でよろしいでしょうか。

農業水産課長 そのとおりです。

分科会長 ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、認定第1号中農林水産部所管分、認定第14号、認定第15号、以上3件を一括して意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、農林水産部所管分の決算審査を終了いたします。

これで、当分科会に送付されました全案件の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、予算決算委員会経済環境分科
会を閉会いたします。

令和2年10月12日
予算決算委員会経済環境分科会記録署名

分科会長 江西 照 康

署名委員 高道 秋 彦

署名委員 堀江 かず代